



探究科の2年次生を対象とした、発展探究中間報告会を開催しました。

探究科

探究科の2年次生は、4月から発展探究の授業において、15の研究班に分かれて課題研究に取り組んでいます。それぞれの研究班では表1・2に示したテーマを設定し、調査や観察、実験に取り組んできました。そして、これまで取り組んできた研究成果を披露するため、9月26日(木)に発展探究中間報告会を開催し、それぞれの研究班が5分間の口頭発表に挑戦しました。

飛行機に搭乗している車いす利用者が、事故により機内から緊急脱出を求められた場合、移動できないことに不安を感じていることを知った公民2班の生徒は、緊急脱出用スライドの使用方法を改善して、安全に脱出する方法を探究しました。飛行機が海上に緊急着陸した場合、緊急脱出用スライドがボートの役割を果たします。そこで、救命胴衣にマジックテープや吸盤、磁石などを装着させ、緊急脱出用スライドに体を固定する方法を提案するとともに、それぞれのメリットやデメリットについて検討した結果を報告しました。また、家庭班は、自然災害などにより地域の交通網が機能しなくなり、支援物資が届かなくなってしまうとき、不足する洗剤を身近なもので代替する方法を探究しました。私たちが普段食材として用いる野菜には、石けんと同様に界面活性作用をもつサポニンや、デンプンを分解するジアスターゼなどが含まれています。そこで、食器に付着した米やゼラチン、ラー油を野菜から抽出した煮汁で落とすことができないか繰り返し実験した結果を報告しました。さらに、自然災害が起こった場合でも流通しやすい野菜を調べ、これらを使った非常食のレシピを提案しました。

中間報告会が終了したのちに、生徒が記述した振り返りシートには、「大学の先生方からいただいた助言や生徒からの質問により、自分たちの発表がどのように伝わっているかわかった。」や「実験から何がわかったのか、これから何を調べなければならないのか、明確にしながらこれから研究していきたい。」などがありました。中間報告会は課題研究の振り返り地点ですが、最終発表会である1月の校内発表会までは、それほど多くの時間はありません。自ら設定した課題の解決を目指して、研究班のメンバーと協力しましょう。

表1 発表した人文社会科学科の研究班と研究テーマ

| 研究班 | 研究テーマ |
|-------|---------------------------|
| 国語 | 中学生の古典教育について～平家物語～ |
| 地理歴史1 | 下関の観光産業の活性化を目的とする観光マップの作成 |
| 地理歴史2 | 綾羅木郷遺跡がもたらした綾羅木式土器の文様 |
| 公民1 | くずが力づくで冷やしてみた |
| 公民2 | 車椅子利用者の緊急着水時の安全な生還 |
| 英語 | 祭りを待つ REASON |

表2 発表した自然科学科の研究班と研究テーマ

| 研究班 | 研究テーマ |
|-------|-----------------------|
| 数学1 | 階段とエレベーターの利便性の比較 |
| 数学2 | 記憶における匂いの効果とは |
| 物理 | 水流の影響を受ける物体の運動について |
| 化学 | ダイラタンシー流体に対する擬塑性流体の影響 |
| 生物1 | アリ同士が仲良くなるのはアリエるか?! |
| 生物2 | 在来ナメクジと外来ナメクジの相違点 |
| 保健体育1 | 思春期におけるパーソナルスペースについて |
| 保健体育2 | 室内空間と色彩の関係性 |
| 家庭 | 野菜から食器用洗剤を作る |



下関市の観光ルートモデルをつくり、観光の活性化を目指す公民2班



お祭りの露店で販売される食品のアレルギー表示について考察した英語班



パーソナルスペースについて研究する保健体育1班



ダイラタンシー現象について研究する化学班

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。

スタンフォードe-Yamaguchiプログラムの開講式が開催されました。

普通科

探究科

山口県教育委員会が主催する令和6年度スタンフォードe-Yamaguchiプログラムの開講式が8月20日(火)に開催され、探究科の1年次生4人と2年次生5人が参加しました。本年度から始まったこのプログラムのテーマは「Leadership of a Sustainable Society」～持続可能な社会の担い手として～で、山口県教育委員会とアメリカのスタンフォード大学との連携により実施されるものです。連携先であるスタンフォード大学は、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション2024年度版世界大学ランキングで第2位です。世界トップレベルの国際教育プログラムを受講し、世界の先端的な知見に触れ、課題解決の方法を考察しながら、英語力や積極性、リーダーシップ等を向上させ、将来の山口県を担うグローバル・リーダーとして成長することを目指します。



山口県庁で開催された開講式

今年度の3月までおよそ10回行われる講義やディスカッション、プレゼンテーションは、すべて英語で行われます。開講式では、本校生徒が受講生を代表して、スピーチしました。優れた活動を行った受講生は、来年度スタンフォード大学で行われる表彰式に招待されますので、積極的に参加してください。



受講生を代表して、本校生徒がスピーチ



オンラインで講義に参加する本校生徒

第24回日本情報オリンピックで、4人の生徒が一次予選を通過しました。

普通科

探究科

第24回日本情報オリンピック(JOI 2024/2025)の一次予選がオンラインで開催され、本校生徒が挑戦しました。本オリンピックは、高校生までの競技プログラマー日本一を決める大会で、二次予選や本選を通過した場合は、第37回国際情報オリンピック(IOI 2025)ボリビア大会へ派遣される日本代表選手に選ばれます。一次予選は、1回目9月14日(土)、2回目10月13日(日)、3回目11月16日(土)の3回実施され、いずれかにおいて基準以上の成績を取ると、二次予選に進むことができます。これまで実施された9月14日(土)の1回目には、普通科の1年次生4人と2年次生3人、探究科の1年次生2人と2年次生2人が参加し、普通科の1年次生と2年次生、探究科の2年次生それぞれ1人が二次予選進出を決定しました。また、10月13日(日)



一次予選に挑戦した本校生徒



二次予選に進出が決定した4人の生徒

の2回目には、普通科の1年次生2人と2年次生2人、探究科の1年次生3人と2年次生4人が参加し、普通科の2年次生1人が二次予選進出を決定しました。二次予選は12月8日(日)にオンラインで開催されます。一次予選の競技時間は1時間20分でしたが、二次予選の競技時間は3時間です。じっくり取り組み、本選出場を目指してください。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。